



中学生考案レシピが給食に

昨年度のレシピコンテスト小中学生の部で最優秀レシピに選ばれた「御前 THE キッシュ」が7月19日、市内7小中学校で提供されました。同レシピは、当時、浜岡中学校3年生だった石原璃天さん(門屋)が考案したもので、市特産品のシラスが使われています。

増田梨心さん(広沢区)は「ふわふわな生地にシラスのしょっぱさがぴったりでおいしい」と話しました。

◀「御前 THE キッシュ」を味わう児童



親子で楽しく夕食を食べる

市内に住む親子を対象にした「だれでも食堂もぐもぐ」が7月20日、学校法人中遠調理師専門学校マツイ学園で開かれ、6家族19人が参加しました。

同校の生徒が、自分たちで考案した地産メニュー13品目をビュッフェ形式で用意。参加した親子は「本格的なメニューでとてもおいしい」と笑顔で頬張りました。

◀食事を楽しみながらコミュニケーションをとる親子



きれいな海を守っていこう

御前崎海上保安署と海上保安協会御前崎支部が7月21日、海洋環境保全の啓発絵本「うみがめマリンの大冒険」を市内5小学校に3冊ずつ寄贈しました。

この絵本は海上保安庁職員が作成。主人公のウミガメ「マリン」が、クラゲと間違えてビニール袋を食べてしまい、海上保安庁の巡視艇に救助される物語で、きれいな海を守る大切さを伝えています。

◀下村裕副支部長は「海洋ごみの発生を食い止めたい」と話しました



男子サッカーチームが合宿

「湘南ベルマーレ」が、7月20日から23日にかけて御前崎ネクスタフィールドで2年ぶり2回目のトレーニング合宿を実施しました。

合宿初日に歓迎式が執り行われ、静岡カントリー浜岡コースと市からマスクメロンや夢咲牛などの記念品が贈呈されました。杉岡大暉選手は「シーズン後半戦を巻き返せるように力を蓄えたい」と決意を新たにしました。

◀鴨川副市長から記念品の目録を受け取る館幸希選手



「えんしゅう」御前崎に入港

海上自衛隊の多用途支援艦「えんしゅう」が7月21日～23日、御前崎港に入港しました。

令和3年に開港50周年を迎えた御前崎港の記念事業のひとつ。22日、23日には「えんしゅう」が一般公開され、3,165人が艦内を見学しました。「えんしゅう」は、艦艇・航空機の射撃訓練の支援や救難、離島に対する災害時の物資輸送など、多用途に使用されています。

◀「えんしゅう」の船員と入港を歓迎する関係者



女子サッカーチームが合宿

「ちふれ AS エルフェン埼玉」が、7月28日から31日にかけて御前崎ネクスタフィールドで2年ぶり2回目のトレーニング合宿を実施しました。

合宿初日に執り行われた歓迎式で、池谷孝監督は「女子サッカーを引っ張っていきたい」と意気込みを語りました。鴨川副市長は記念品を贈呈し、「上質な芝で実りある練習をしてほしい」とエールを送りました。

◀同チームから市にサイン入りユニフォームが贈呈されました



河川愛護活動が認められる

合戸町内会が7月31日、県袋井土木事務所長から河川愛護団体として表彰されました。

河川の美化活動に尽力している団体に贈られるもので、平成22年ごろから毎年複数回にわたって実施している高松川や御手洗川、長兵衛川などの草刈り活動が評価されました。合戸町内会長の森下庄治さんは「今後も住民と協力しながら活動していく」と話しました。

◀榎原正彦所長から賞状を受け取る森下町内会長



医療現場の仕事を模擬体験

看護職への理解を深めることを目的とした「高校生1日ナース体験」が、8月2日と3日に市立御前崎総合病院で実施されました。

近隣高校の1～3年生14人が参加し、施設の見学や先輩看護師との座談会、看護師の仕事体験を実施。参加者は「看護師が患者さんと全力で向き合っている姿に感動した」と話しました。

◀回復期リハビリテーション病棟の先輩看護師との座談会の様子